



あべ 貞光 議員

基幹産業・農業の未来は

市長／情報収集に努める



消費者に求められる米づくり

議員 平成30年の水稲作付は250鈔超過となっている。とも補償加入件数、作付け超過解消の取組は。

市長 5月末現在7218件で、加入率74%昨年より9ポイントの減となっている。現状ではとも補償が成り立たない事から、超過者には文章などの配布も含め積極的に要請する。また加工用米や飼料用米への取り組みを依頼した結果3鈔減少したが、引き続き切り替えをお願いしていく。

議員 産地間競争を勝ち抜く上でも、売れる米作りや新市場開拓、欠かす事がで

きない対応は。

市長 新農協が誕生し米穀販売高は、全国一となる事から、需要が高い業務用米の作付け拡大や、新たな販売戦略である輸出の取組について現在JA栗っこ、県・国と協議を始めている。

議員 県北部6農協の合併推進協議会は、本店は栗原市に置き旧玉沢小学校を再利用するとしている。敷地・アクセス道路の整備などを含め考えを聞く。

市長 敷地や校舎以外の施設の活用方法は詳細に協議し、周辺道路については車の増加や交通量を把握しながら拡幅などの整備について検討する。

議員 学校保健安全法は、平成21年4月施行され、学校の設置者の責務の明記、保健計画・安全計画の策定、学校環境衛生基準の法制化など大幅に変化している。対応は万全か。

教育長 児童生徒の健康の保持増進や生命の安全確保を図りながら、教育活動の安全な運営に努めている。

学校保健安全法への対応は万全か

市民バス、中学生の登下校を無料に

教育長／公平性などの観点から再検討



のりお 範男 議員



中学生の登下校時也有料の市民バス

議員 本年度で、通学区域を変更して通学している児童・生徒の人数と理由は。

教育長 小学生は188人で、理由は友人関係、兄弟姉妹が在籍、保護者都合の順で、中学生は84人、理由

議員 は友人関係と部活動が同数上位で、兄弟姉妹が在籍という順で続いている。

議員 スクールバスの無償運行との見合いで、中学生の登下校時の市民バス料金は無料にすべきだ。

教育長 学区内の通学支援は、等しく行っている。本人や家庭の理由で学区外に移動する場合の通学支援は、公平性などの観点から、検討する必要がある。

第三セクターの経営健全化方針は

議員 市の第三セクターとこれまでの役割の評価は。

市長 (株)ゆめぐり、くりはら振興(株)、花山地域開発(株)の3社で、市の観光振興の中心的役割、市内外の交流拠点施設や農産物直売施設として、地域の活性化や雇用の創出に貢献した。

議員 今年度末まで、「第三セクターの経営健全化方針」を策定し、公表することになるが、骨子は。

市長 3法人は、収益性や採算性から民間参入が困難な分野であり、観光や宿泊雇用の受け皿として、今後事業を継続するが、財政的リスクの解消のため、常に経営改善策を進め、更なる統合や将来的な民営化の検討も必要になる。

議員 健全化方針は、案の段階で議会と協議するか。

市長 議会の意見を聴く。

東北職業能力開発大学校の制度と活用

市長／人材確保の定着に取り組み



議員 かつよし 相馬

議員 東北職業能力開発大学校の学生の多くが、仙台圏や関東圏へ就職し、市内企業などに就職する学生が少ない。人材確保にとっての喫緊の課題であり、市の進める若者の定住推進に

とつても問題であると思うが市長の考えを聞く。

市長 先に市と大学校の連携協力に関する協定を交わし、「くりはらジョブ・フェア」などを開催し働きかけてきた。今年度から、市内の企業に呼びかけ、インターンシップの充実や自社技術などの優位性をアピールしてもらい、市として側面的な支援をしている。今後

材確保の定着に努めたい。

議員 大学校の在学に対して、新たな奨学金の融資制度をつくり、市内へ就職した場合や返還免除するなど優遇制度や保護者の市内居住や収入額の要件の緩和など提案するが、いかがか。

市長 市の奨学金貸与制度は基金を原資として活用されている。償還免除などを行った場合、運用に影響されるのが懸念される。

奨学金貸与の採用要件の緩和については、他の自治体では、若者定住策として実施しているところもあるが、市では、企業誘致による若者の雇用確保や、住宅確保に対する補助を行うなど、多様な若者定住対策などを実施しているところである。このことから、保護者の市内居住、家計基準などの要件を変更し貸し付けすることについては、現在のところ考えてはいない。



東北職業能力開発大学校

市の防災・減災体制は充分か

市長／状況を確認し検討する



議員 よしろう 佐々木



栗原市総合防災訓練の様子

議員 本市は大規模な地震・台風・集中豪雨などに見舞われてきた。防災・減災対策は大丈夫か。

市長 地域防災計画や水防計画、各ハザードマップなど国や県と整合性をはかり、見直しなど早急に対応する。

議員 想定を超えた災害が多発している。防災・危機管理体制充実のため、実務経験豊富な退職自衛官を、地域防災マネージャーとして採用してはどうか。

市長 県内では宮城県その他

5市4町で採用している。防災マネージャーの位置づけを確認し、前向きに検討する。

議員 栗駒山は監視、観測体制火山だ。対策は十分か。

市長 噴火を想定した火山ハザードマップを作成している。噴石や火砕流、火山灰について、栗駒山火山防災協議会の検討を受けて、具体的対策を作る。

議員 災害から市民を守る上で大切なのは情報だ。市民への速やかな周知が必要では。

市長 防災行政無線は、行政区長や自主防災組織などの代表者に戸別受信機を配布し、要配慮者などに伝わりやすくしている。

議員 瀬峰飛行場は栗原市固有の資源だ。さらなる活用をどう考えているか。

市長 民間の管理所有であり、整備は民間で行うことが基本だ。

議員 学校での不審者対策、危機管理は十分か。

教育長 不審者対応マニュアルを各学校で作成している。警察などとも連携して対応する。



佐藤 悟 議員

乗り継ぎは更に100円、無料に 市長／一路線一律100円で低廉化



求められる利便性の向上（市民バス）

議員 平成31年4月1日実施の「地域公共交通実施計画」は、市民の安心・暮らしの向上、地域活性化に期待されている。

① 定時・定路線の運賃は、一律100円。乗り継ぐと更に100円、無料とすべきである。

② 乗合デマンド交通は、運賃は、一律300円。登録料は、年間一人1000円、世帯単位とすべきである。

③ 主要停留所はフード付に「(仮称)バスセンター」の

整備をすべきである。

市長 ① 一路線一律100円とし、運賃の低廉化とサービスの向上が図られる、乗り継ぎ利用の更なる軽減は行わない。

② 登録証の発行、情報・運行管理などの手数料で個人登録としている。

③ 中心拠点の栗原中央病院・くりこま高原駅は、センター機能も兼ねており、新たな整備は考えない。停留所の環境整備は検討していく。

議員 ① 築館・若柳両放課後児童クラブは、飽和状態で教室の増設を。

② 長期委託契約、支援員などの待遇改善・人材確保を図れ。

③ 質の高い事業運営のため「(仮称)あり方検討委員会」を設置・協議すべきである。

教育長 ① 若柳は、一クラス増設済。築館は増設を検討する。

② 毎年度、賃金改定など雇用管理や勤務体制を考慮し契約。受託者の「総括センター」で対応している。

③ 「市子ども子育て会議」で協議していく。

学校再編に伴う環境整備は進んでいるか

市長／緊急性の高いものから進めている



沼倉 猛 議員

道は60センチの側溝に蓋をしたものである。再編優先の進め方ではないか。

教育長 激変緩和策としての当面の期間は決まっておらず答えられない。歩道の拡幅整備の予定はない。

道徳教育の教科化の対応は

議員 道徳教育の教科化が決定されたが内心の自由に関わる問題をどう評価するのか。思想統一の狙いも危惧されるが、市の方針は。

議員 高清水中学校と瀬峰中学校が再編の予定だが激変緩和策として高清水地区の生徒は全員がスクールバスを当面の間利用できるが、当面とはいつまでなのか。自転車通学も予想され利用者が増える瀬峰桃生田交差点から瀬峰中学校方面の歩



瀬峰中学校付近の歩道

教育長 評価は記述式である。意見の違いに気づき相手を理解する力の育成につながるかと考えている。

公共交通の見直しは

議員 市民バスの廃止で高清水地域の幼稚園児、児童生徒の送迎、ミニデイサービスの送迎はどう検討しているか。

市長 通園、通学支援はスクールバスの運行手法をPTAなど関係者と協議する。

地域拠点整備の進捗は

議員 高清水新町交差点西側にあるJRの土地を購入し歩道の確保と地域の交通の拠点として整備することを提案したが検討したか。

市長 歩道の整備は交差点北側の既設歩道まで接続するため、土地所有者と用地取得の協議を進めている。

免許証返納者への支援を

市長／返納できるよう支援を拡充



市長 千昭 議員 佐藤 千昭

議員 市内の高齢者の交通事故の実態を聞く。

市長 昨年の市内の65歳以上の高齢者に関する交通事故は365件で、物損事故よりも人身事故の割合が高い状況にある。主な事故原因は前方不注意、安全不確

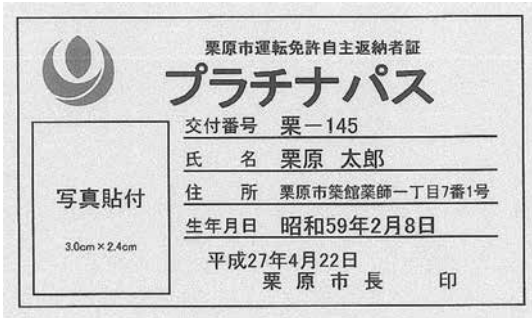
認による追突、出会い頭による事故が全体の約66%を占めている。

議員 高齢者の運転免許証の自主返納状況は。

市長 昨年中に運転免許証を自主返納した人は176人である。

議員 運転免許証の自主返納者に対する支援内容は。

市長 申請により、運転免許自主返納者証を交付し、市民バスの割引や、施設入館料、ゆめぐり施設の入浴



運転免許自主返納者証（プラチナパス）見本

他に、学校の不登校、スクールバス利用、エアコンの設置やトイレの洋式化も質問。

市長 今後の植栽については針葉樹のほか、広葉樹も含め検討していきたい。

議員 伐採跡地の林種転換にヤマボウシなどの植栽を。

市長 補助事業を活用し伐倒除去や薬剤散布で被害の拡大防止に努めている。

議員 松くい虫の被害が多すぎる。その対策は。

市長 収支バランスを考慮しながら、伐採適齢期の立木の主伐、売り払いを検討

議員 市有林は、8等級以上が1370畝である。活用について聞く。

市長 補助事業を活用し伐倒除去や薬剤散布で被害の拡大防止に努めている。

議員 伐採跡地の林種転換にヤマボウシなどの植栽を。

市長 今後の植栽については針葉樹のほか、広葉樹も含め検討していきたい。

議員 松くい虫の被害が多すぎる。その対策は。

市長 収支バランスを考慮しながら、伐採適齢期の立木の主伐、売り払いを検討

議員 市有林は、8等級以上が1370畝である。活用について聞く。

市長 補助事業を活用し伐倒除去や薬剤散布で被害の拡大防止に努めている。

議員 伐採跡地の林種転換にヤマボウシなどの植栽を。

市民の声

市長／総合的に検討する



議員 濁沼 一孝



請願箇所 上田線

る。テニスコートの近くにトイレと街路灯の設置を求めるが見解を聞く。

教育長 トイレは引き続き栗駒野球場の管理棟を開放しながら対応する。街路灯については、管理棟前の街路灯が故障しており、修繕などを行っていく。

議員 みちのく伝創館の観客席の設置についての質問で構造上、機材に耐えられないと言っ答弁があった。他地区では公民館の改修工事が計画されているが、みちのく伝創館も計画の対象になると理解して良いか。

教育長 建築年数が40年以上の建物が改築の対象になる。みちのく伝創館は40年未満なので対象にならない。

議員 栗原市外への通勤で東北新幹線を利用するサラリーマンに通勤費の一部を助成しているが、市外の高校へ通学する学生にも通学補助をすべきと思うが見解を聞く。

市長 必要性・緊急性を見据えながら総合的に検討する。現段階では建設はしない。

議員 栗駒三島のテニスコート1の改修工事が終了し、4月から市民が利用してい



さわべ ゆきひろ 議員
澤邊 幸浩

学校再編後の校舎等の有効活用を望む

市長／市の財産である施設を有効活用できるように対応する



再活用が待たれる旧萩野第二小学校

議員 学校再編後の校舎などの有効活用が望まれるが、その再活用について伺う。今後、地域コミュニティ組織の運営規模が拡大された場合、運営拠点として、校舎などの跡地利用が見込まれる。市としての助成が必要と思われるかどうか。

市長 今後、地域コミュニティ組織づくりを推進するにあたり、その運営拠点となる施設は必要であると認識している。使わなくなった、公民館や閉校学校跡地、集会施設など、既存施設の有効活用を考えている。施設の運営に当たっては、指定制度による支援や、一括交付金制度などのメニュー見直しなどを視野に考

えて行く。

議員 少子高齢化、地縁・血縁の希薄化などが進む中で、高齢者が亡くなった後納骨などの人生の締めくくりに、自治体が手助けする「終活」サポート支援事業が広がっている。今後の栗原市における取組みを伺う。

市長 現在、身寄りのない人などが抱える「死後事務」の対策については、市が生活保護法などの法律に基づいて対応している。今後、高齢者が増加していくことに鑑み、終活サポートの先進事例を参考にしながら、調査・研究が必要であると考えている。

議員 不登校における、通学再開・学校復帰において、スクールソーシャルワーカーなどの専門職との関わりを持って、どのような対策と取組みがなされているのか伺う。

教育長 学校からの要請に基づき、専門職の方を適宜派遣し、児童・生徒や保護者が相談できる体制を構築し、家庭や学校などの環境の改善に努めており、不登校の解消に向けて、問題解決に取組んでいる。

小規模・集団組織農家への農機具購入助成を

市長／登米市など他自治体を参考に研究する



たかし たかひろ 議員
高橋 勝男

議員 国の事業は大規模農家や会社法人を対象にしており、市内の8割弱を占める兼業農家などは対象外となっている。栗原の農家を守るため小規模・兼業農家や集団組織などが農業機械



トラクターなど農機具の更新は大変

を取得する際の財政支援を。

市長 兼業農家や小規模農家の農業用機械については組織化などによる共同購入や共同利用を推進している事から共同利用組織への支援については、他の自治体を参考に研究する。

議員 臨時・非常勤職員の見直しを目的に「会計年度任用職員制度」が2020年4月からスタートするが、その対象者は。

市長 市の臨時・非常勤職員は515人いるが、選挙管理委員、監査委員、統計調査員、学校医などを除いた、保育士や幼稚園教諭、事務補助員、土木作業員など全ての職種が対象になる。

議員 同じ栗駒中学校でも、鶯沢地区に居住する生徒は、一関市内の県立高校を受験できない。また、一関市内の県立高校を受験した生徒は宮城県内の県立高校の2次募集に応募できない事になっているので、「県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定」の見直しが必要である。

教育長 同じ学校に通う生徒の進路選択に閉塞感が生まれる事や県外の県立高校には二次募集がない場合もあり、その時は私立高校を受験する事になる。その場合、通学に不便を生じる事もあるため、制度の見直しを県教育委員会に働きかけていく。

ILC誘致庁内推進本部とは

市長／近隣自治体や関係機関と連携し、誘致に向けた取り組みを協議していく



市長 高橋 将 議員

ための栗原の強みは。

議員 技術顧問はいるか。

市長 岩手大学客員教授の吉岡正和先生に専門的知見に基づく提言をいただくこととしている。

議員 東北ILC推進協議会へ入会しては。

市長 入会する方向で検討している。



ILCの講演を行う、吉岡正和先生

えている。

議員 新ストープ灰保管の早期解決を求める。

市長 原因は国と東電。早急に処理するように要請している。

議員 最近の要請状況は。

市長 4月宮城県市長会として要望を出した。

議員 要望の成果は出ているか。

市長 国会議員、環境省にも要望しているが、なかなか答えが出ず忸怩たる思い。

議員 灰の放射線物質測定を行えるようにし、安全確認しては。

市長 今後は要望がある場合は測定を行い、国の暫定許容値400bq以下の場合は自己処理できるように対応していく。

他2点について質問
防災無線の定時放送見直し
栗原市公衆無線（仮称・栗原Wi-Fi）計画策定をすべき

元号改正への準備は万全か

市長／情報収集に努め対応する



議員 三浦 善浩



改元を伝える報道

クールビズ対応を柔軟に

議員 ①市では、クールビズに対する明確な決まりはあるのか。②地球温暖化や異常気象など、5月でも暑い日がかかり多くなってきた。個人（自分自身）の判断で、5月中でもノーネクタイなどの軽装を可とすべきではないか。③同様に、10月中の服装も柔軟な対応とすべきではないか。

市長 ①②③6月から9月までを基本的に期間を定め、クールビズを実施。5月、10月も、気温の状況などにより、期間の前倒しや延長を行っている。今後も、柔軟に期間を定め、個人の判断によらず一斉に実施したい。

【その他の質問項目】

▼不妊症対策の前進を。

▼発達障がいへの悩みに寄り添え。『ペアレントメンター』

による相談体制の整備を。

▼一般質問の「その後」を問う！①農作業事故防止の対策について。②市民サービスについて。（市役所への総合案内所の設置）。

議員 来年は、天皇が退位して元号が新しくなる。元号改正に向けた準備は万全か。①市は、どのような変更、改正などの作業が必要と予想するか。②準備はどのように進めていくのか。

市長 ①条例、規則、要綱の改正が29件、基幹系システムなどで使用する元号改修57件が必要になる。②各業務の改修期間を最大1ヵ月と想定し作業を進める。各システムの改修は、各業務委託先と緊密に確認しながら、確実な改修を行う。



さとう ふみお 議員
佐藤 文男

どうなる一迫ふれあいタクシー

市長／運行事業者と相談で



一迫ふれあいホールから出発

議員 来年度から運行開始をする地域公共交通計画が示された。一迫地区では合併前の平成16年からデマンド交通システムを導入し「一迫ふれあいタクシー」を運行し地域交通の手段として定着をしている。新乗り合いデマンド交通との違いについて問う。

①利用の予約は前日だが「一迫ふれあいタクシー」は利用30分前に予約できる。
②運賃は一律300円だが「一迫ふれあいタクシー」はまちなか移動100円で

できる。
③利用登録に1000円程度の負担があるが、無料にすべきだ。免許証自主返納者は特にすべきだ。
④移動ニーズはさまざまだが、想定される生活拠点以外に移動はできないのか。
⑤現在一迫で運行している「ふれあいタクシー」方式（予約方法、料金設定）全地区に取り入れるべきだ。

市長 ①運行ルートや配車などの作業が生じることから事業者の負担を考慮し、前日予約とする。②自宅から地区内拠点間の移動を基本とし、地区内拠点間の移動も300円とする。③負担軽減について検討していく。④自宅からバス停までの移動が大変であるという市民からの要望を最大限優先し拠点をもうけた。今後拠点を増やすことも柔軟に対応。⑤基本的にふれあいタクシーと同様の運行形態で行うが、宮城県一広い市内全域を統一した乗り合いデマンド交通にするため、今後、市民の声を聞きながら更なる検討を加え、持続可能な公共交通を目指していく。

新農協本店予定の旧玉沢小学校

市長／交通量の増加が見込まれ、拡幅などの整備を検討



さとう しょうき 議員
佐藤 庄喜

議員 ①校舎の南側道路の拡幅を。②校庭の舗装などの対策を。③プール解体工事は。④新農協と市との決定手順は。⑤玉沢の養生をする。

市長 ①交通量を鑑み検討する。②新農協で整備の意

向と伺っている。③本年度中に解体する。④10月23日以降に契約手続きとなる。⑤協議をして保存に努める。

議員 外資の森林と農地の取得調査で①国では既に森林買収を調査開始。市の実施年は。②外資の森林買収は。③農地でも農地所有適格法人へ出資の外資関連法人は。④職員の調査体制は。

市長 ①平成22年より調査。②伐採届で調査するが無い。

③事例はない。④国県、農業委員会と連携対応する。

議員 森林経営管理法成立に伴い①地域林政アドバイザー制度の状況は。②来年4月施行により準備などの対応は。③林務専門職員の在職は。④森林、林業の経験者を雇用、法人へ委託か。

市長 ①国家資格者のため活用せず。②県との会議も予定で注視し準備している。③在籍せず確保必要。④林業経営者、栗駒高原森林組合などに委託検討している。

議員 栗原ドリームアンバサダーに委嘱した日本相撲協会理事、高島親方との交流会を始めアドバイザー、応援リーダーを市民まつりなどで市民にご紹介を。

市長 市民まつりなど様々な機会でも交流促進していく。

議員 河北美術展入賞作品展示と入替は。菊地義彦先生より寄付61点の展示は。

教育長 入替せず。61点は栗原文化会館で展示検討。



経済効果期待の新農協本店予定の旧玉沢小学校

「道の駅」は市民のくらし向上につながるか

市長／農家所得の向上や地域経済に寄与している



おの 小野 久一 議員

議員 「道の駅」推進事業は市長の選挙公約案件として新規に追加されたものだが市長が公約とするまでの経緯と、市民検討委員会で検討するところがあるが委員会は設置されたか、検討事項と

結論を出す期限はいつか。

市長 栗原市を再認識することができる個性豊かなにぎわいの場の創造と、観光情報発信の中心となるハブ的な観光誘客施設として有益だと考えた。委員会は基礎調査業務委託に合わせて設置し交通量、立地条件や敷地などの事業化に向けた課題、候補地の選定などについて検討し、今年度末に結果を出したい。



産直施設は「道の駅」と競合しないか

議員 市内に農産物直売施設は幾つあるか、競合しないか、特産物をどう創りだすか、出荷農家を確保できるか、どのような組織が経営・運営するのか考えられ

たか。数億円から十数億円の税金が使われる事業になるが、市民のくらしの向上にどうつながるかよく吟味すべきであり、「道の駅」ありきの進め方はやめるべきと考えるがいかがか。

市長 17箇所の直売施設がある。様々の課題については来年度以降に実施する基本構想の策定過程において検討する。

市民に喜ばれるデマンド交通に！

議員 栗駒の乗り換え拠点は栗駒病院だが築館に行くのに泉沢・芋埴・片子沢の方も栗駒病院に行くのか。

市長 一度栗駒病院に行くことになる。今後運行しながら第2拠点も考えたい。

河川、国道、県道法面の草刈り、支障木伐採を

市長／県に働きかけていく



すがわら 菅原 勇喜 議員



もぐり橋から新幹線を望む（迫川河川敷）

災害公営住宅独自支援策の拡充を

議員 石巻市などは5年目までの家賃額を10年目まで延長する支援策となっている。同様の支援策を取らなかった理由は。

市長 減免割合が最大となる期間を5年間から7年間へ2年間延長し、さらに8年目から10年目まで段階的に減免割合を縮小していくこととしたものである。

核兵器禁止条約批准を求めよ

議員 昨年7月7日国連で核兵器禁止条約が採択された。市長にあつては、日本政府が核兵器禁止条約に調印し批准するよう意思表示することを求めるがいかがか。

市長 日本は同条約に賛同していないが、国連総会に「核兵器の全面的廃絶に向けた新たな決意の下での共同行動」決議を提案し採択されている。双方の違いは手法の違いと考える。核兵器廃絶の働きかけを行っていく。

強く推していく。



みづつか あずま
三塚 東 議員

魅力ある公共施設を次世代に

市長／住民の声を聞き最適な計画づくり



50年以上が経過し、廃止になった旧鷺沢体育館

議員 公共施設を管理する基本方針に基づき、本年度には地域説明会を開催し市民の声を聞くとしていた。地域説明会は、いつ、どのように開催するのか。

市長 これまで、施設の利用状況や維持管理の経費などのデータをもとに、今後の方向性を協議してきた。ところが、本年4月に国から財源や数値目標を定めることや長寿命化対策の効果額を反映することなどが

示され、新たな調査項目を加える必要性が出たため、策定スケジュールの見直しを行なっている。

地域説明会は、公共施設の最適化計画の案を作成したのちに開催したい。

議員 国の方針に基づき見直し作業が行われているが市の将来ビジョンを策定するとともに、概要版を作成して市民に知らせ、住民との合意形成を図るべきが優先課題ではないか。

市長 現在、施設ごとの最適化計画を作成中だが、計画の基本的な考え方を説明しながら、地域ごとや利用団体などの意見を聞き、公共施設の最適化計画を策定したい。

なお、市民に対する情報不足があったと思うので、概要版などを作成しながら広く市民に知らせたい。

議員 公共施設を適正に管理しようとする中で、先行して、1地区1公民館に集約するのはなぜか。

市長 公共施設それぞれ個別の計画が最適化計画である。老朽化した公民館が顕在化しており、改修計画での中の方針で進めている。

観光地やイベントのネットワークを

市長／魅力的に磨き上げていく



すがわら せいごう
菅原 正剛 議員

物、食事などした場合に、最大2000円をキャッシュバックする観光周遊支援事業を実施している。②栗駒山麓連絡会議においてスタンプラリーを実施し、県北部振興事務所、飲食店と連携し、クーポン券による誘客に取り組んできた。昨年12月に郷土食や伝統料理、菓子など栗駒山麓の恵みとして認定し、食についても栗原の魅力を発信している

ことから、スタンプラリーについて、その可能性について検討する。③周遊コースは観光パンフレットや観光産協会のホームページ、ぎゅぎゅつとくりはらで、地域や季節ごとに様々なコースを紹介している。今後、観光関係者と意見交換の場を設け、情報共有できるネットワークづくりなど魅力的に磨き上げていく取り組みを推進する。

議員 ①高原駅から観光地やイベント会場までの2次交通のアクセスをどのように考えているのか。②市内各地のイベントに誘客するため、年間を通じてスタンプラリーや飲食店のお得なクーポン券を発行するなど取り組みができないか。③市内各地の観光地やイベントなどのネットワークづくり、周遊ルートの設定や地区を越えたイベントの連携が必要と思うが、どのように考えているか。

市長 ①6月には世界谷地まるかじりバスを、栗駒山の紅葉時期には週末に特別バス紅葉号を運行している。また、平成29年9月からレンタカーを利用して市内98カ所の登録店で観光や買い



インフォメーション機能を充実・強化した高原駅「オアシスセンター」

私たちの

「市議会だより」

先月、地区で防災訓練がありました。先日大阪の地震、広島高知などでの豪雨災害で甚大な被害が発生して改めて防災に対する取り組み方を考えさせられました。市議会だよりにも、防災に関する質問が掲載されている事を心強く感じております。

私は今まで3回ほど議会を傍聴したことがあります。議会での議員は市民の代表として質問し、市が答える形ですが、その議題を継続質問する事が少ないと感じます。大事な議案には継続して経過と結果を示してほしいと市民は期待しています。栗原市の人口は7万人を割っており、出生数と死亡者の割合が2倍以上の数字を見る度に対策を行政に期待するのは私だけではどうか。我家の9人家族、今では珍しい現象ですね。議員の公約実現を期待し市民に分り易く伝える「議会だより」楽しみです。編集委員皆様へ感謝と今後の活躍を期待。



まつた ひさよし
松田 久義さん
(一 迫)

私もひとこと



すがわら やすこ
菅原 安子さん
(瀬 峰)

運転免許証を

返納したら

近頃、高齢者による自動車事故が報道される度、運転免許証の自主返納制度や認知機能検査も話題になり、私も運転に不安を感じたら返納すべきかなと考えています。

転勤で夫の故郷栗原に来た時、車の必要性に迫られて免許を取得しました。今では、車なしの生活は本当に想像できません。現在市民バスが地域内では週2回往復のみ。近くに商店のない地区では、車がなければあとはタクシー。買い物に毎回タクシーでは本当に大変です。栗原市では安全で快適に移動できる質の高い暮らしのまち「ほしい栗原」の実現を基本理念として「栗原市地域交通網形成計画」を考えているようですが、本当に住んでいる人が栗原の良いところを堪能できるような交通網の構築を願いたいと思います。栗原の人口は7万人弱。うち75才以上1万5000人。60歳以上で半数近い3万2000人。栗原市の活性化のためにも若い方々は当然ですが、高齢者にも住みやすい街でありたい。

あとかき

6月から7月にかけての暑さは近年に経験したことがなかったと記憶している。地球規模での地震、台風、豪雨、竜巻などで大きな災害が発生している。国内では西日本豪雨により死者・不明者が200人を超えた。これも地球温暖化が原因なのでしようか。

長屋門と居久根の調和のとれた田園風景の美しいわがふる里。ホッとした気持ちに誘われ心を癒してくれます。みなさんとの絆をこれからも市議会だよりで。

鹿野 芳幸

広報編集調査特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員 長 | 佐藤 悟 |
| 委員 長 | 菅原 正剛 |
| 委員 員 | 佐藤 喜一 |
| 委員 員 | 小野 久一 |
| 委員 員 | 澤邊 幸浩 |
| 委員 員 | 鹿野 芳幸 |
| 委員 員 | 高橋 芳将 |
| 委員 員 | 菅原 勇喜 |
| 委員 員 | 阿部 貞光 |
| 議長 | 瀬戸 健治郎 |